

まちの話題

8/15 受け継がれるお盆の伝統行事

市指定無形民俗文化財

牟田ジャンガラ（星鹿町牟田地区）

明治の中頃まで行われていた御厨ジャンガラに由来し、疫病退散、えきびょうたいさん五穀豊穡ごこくほうじょうを祈願する子どもたちの行事として受け継がれています。

「のぼり幟さし」の別名のとおり、権兵衛様と御厨様のお墓の周りをまわった後「ハリナームホッポンジャホイホイホイ」の掛け声に合わせて幟の根元で墓をつくことを3回繰り返します。

子どもたちは地域住民に習い、見守られながら伝統行事を体験しました。



星鹿ジャンガラ（星鹿町星鹿地区）

疫病退散、豊漁・豊作を祈願し、先祖の供養を行う盆行事です。

子どもたちは、大幟を先頭おおのぼりに小幟このぼりを差し立てて旧星鹿老人憩いの家を出発。「ナームホーリホッポンジャーホイホイホイ」の掛け声を唱えながら浄土寺までの道行きを行いました。

道中にある「つんぼう様」の墓前で掛け声とともに幟で塚を打ち、続く浄土寺では掛け声を唱えながら大幟と小幟が交互に3周し、最後は大幟が境内から続く坂道へ走り去りました。



8月中旬 人権の花が咲いたよ

人権の花運動



青島小学校



調川小学校

今年度は、青島小学校と調川小学校の児童が人権の花運動に取り組み、大事に育てたひまわりはきれいな花を咲かせました。

この運動は、花の種子などを児童たちがお互いに協力して育てることで、思いやりの心を育み、人権尊重の理解を深めることを目的に全国で毎年行われる人権啓発活動です。

本市では、平戸人権擁護委員協議会松浦市委員（力武副会長ほか6人）の協力のもと、小学校2校の持ち回りで実施しています。

8/25 地域防災の要 訓練に励む

令和6年度松浦市消防団夏季訓練



同訓練が文化会館駐車場で行われました。

この訓練は、消防団員の士気および消防技術の向上を目的としています。

当日は、市内の消防団全地区から約250人が集結、各地区に分かれての訓練礼式から始まり、後半はラッパ隊に合わせ一斉に分列行進を行いました。

気温が高く厳しい状況のなか、それぞれが真剣な表情で訓練に励んでいました。今後も地域防災の要として期待されます。

9/3 ブルーベリー畑に笑顔溢れる

ブルーベリー畑無償開放 須藤邦寿園（志佐・西山）



同園の須藤正文さんは、市内の子どもたちに農業や自然とふれあう楽しみを感じてもらいたいと、出荷シーズンが終わりを迎えるこの時期に合わせ、ほしか保育園と松浦幼稚園の園児に畑を無償開放しました。

この日、ほしか保育園の4～5歳児27人は午後から畑を訪れ、ブルーベリーの摘み取りを体験。子どもたちは、畑内を走り回り「こっちにいっぱいある」「ブルーベリー好きになった」と大はしゃぎ。収穫と味を楽しみ、元気な声と笑顔で溢れました。